

- 問1 水が冷やされて凍^{こお}り始めるときの温度は、何℃ですか。
- 問2 水が空気に出ていく量と、水を置く場所のあたたかさ（温度）には、どのような関係がありますか。
- 問3 水が空気に出ていって、水じょう気になることを何といいますか。
- 問4 気体である水蒸^{すいじょうき}気を冷やしたとき、どのようなすがたに変わりますか。
- 問5 コップに水を入れて部屋においておくと、何日かたったあとに水のかさがへっていました。これは、水がどうなったからですか。
- 問6 水を熱し続けて、水がふっとうしている間、水の温度はどのように変化しますか。
- 問7 水蒸^{すいじょうき}気が液体である水に変わるのは、水蒸^{すいじょうき}気をどのようにしたときですか。
- 問8 お湯をわかしたときに見える「湯気」は、水じょう気がどのようになってできたものですか。
- 問9 プラスチックの容^{ようき}器に水をすき間なくいっぱいに入れて、冷凍庫で凍らせると、容^{ようき}器や氷の様子はどうなりますか。
- 問10 水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを何といいますか。
- 問11 熱せられた水が100℃近くになり、さかんにあわを出しながらわき立つことを何といいますか。
- 問12 水を入れたコップにふたをしておくと、中の水の量がほとんど減^へらないのはなぜですか。
- 問13 水が冷^{こお}えて凍り、氷になるとき、水の体積（かさ）はどのように変化しますか。
- 問14 水が温度によって、氷、水、水蒸^{すいじょうき}気と、すがたを変えることを何といいますか。
- 問15 水が凍^{こお}り始めてから、すべての水が完全に凍^{こお}ってしまうまでの間、温度はどのようになりますか。
- 問16 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状^{じょうたい}態のことを何といいますか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 0℃	水は冷やしていくと、0℃になったときに凍り始めます。 こお
問2	答え 置く場所があたたかいほうが、水が空気中に出ていく量が多くなる。	水は、置く場所があたたかい（温度が高い）ほうが、空気中に出ていく量が多くなります。
問3	答え じょう発	水が水じょう気になることを「じょう発」といいます。じょう発は、水面から少しずつおこります。
問4	答え えきたい 液体である水	すいじょうき 気体である水蒸気は、 えきたい 冷やされると液体である水に変わります。
問5	答え じょう発して水じょう気になったから	水は熱していなくても、まわりの空気中へ少しずつじょう発して水じょう気になるため、水のかさがへっていきます。
問6	答え 100℃近くのまま上がらなくなる	水がふっとうしている間は、熱し続けても温度は100℃近くのまま上がらなくなります。
問7	答え 冷やしたとき	すいじょうき 気体の水蒸気は、 えきたい 冷やすことで液体である水に もど 戻る性質があります。 せいしつ
問8	答え 空気中で冷やされて、目に見える水のつぶになったもの	湯気は、水じょう気が空気中で冷やされることで、目に見える水 づぶ のつぶに変化したものです。
問9	答え 氷の体積が大きくなって、 ようき 容器が外側にふくらむ	水が氷になると体積が大きくなるため、容器いっぱいの水が凍ると、大きくなった分だけ容器を外側に押し広げます。
問10	答え 湯気	水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水 づぶ のつぶになったものを湯気といいます。
問11	答え ふっとう	水が熱せられて100℃近くになり、さかんにあわを出してわき立つ現象を「ふっとう」といいます。 げんしょう
問12	答え 水が空気中に出ていかないから	ふたをすることで、コップの中の水が空気の中に出ていくのを防ぐため、水の量はほとんど減りません。 ふせ
問13	答え 大きくなる	水は凍って氷になると、体積（かさ）が こお 大きくなるという性質があります。 せいしつ
問14	答え じょうたいへんか 水の状態変化	水が温度によって、氷（固体）、水（液体）、水蒸気（気体）とすがたを変えることを「水の状態変化」といいます。 えきたい すいじょうき
問15	答え 0℃のまま変わらない	水が凍り始めてから全部凍るまでの間、温度は0℃のまま変わりません。 こお
問16	答え 固体	氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状態を固体といいます。 じょうたい